

平成30年度 学校評価結果の考察と今後の対応について

長崎県立鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室

1 教育活動について

保護者（3.40→3.30）、教職員（3.30→3.30）となり、教職員は、昨年度と同値であったが、保護者の評価は、わずかに下回る結果であった。

保護者においては、昨年度より下回った項目が13項目、上回った項目が4項目であり、今後保護者への的確な情報発信に努めていくことが必要である。「18：現場実習や進路開拓を十分に行っている。」の項目では、3.7と高い評価をいただいている。初めての卒業生が出るにあたって、進路指導の成果が出ているものと思われる。

2 教育環境について

保護者（3.50→3.43）、教職員（3.43→3.50）となり、保護者は昨年度をわずかに下回り、教職員はわずかに上回る結果となった。しかし、教育環境の3項目ともに3.4以上であり、高等学校に併設された分教室の環境に対して、一定の理解を得ているものと思われる。今後も高等学校と連携をとりながら充実させていくことが必要である。

3 開かれた学校について

保護者（3.30→3.40）、教職員（3.20→3.30）となり、どちらもわずかに昨年度より上回る結果となった。今年度は、入学者の数がこれまでより少なかった。各種の行事等について、積極的に情報発信を行い、理解啓発に努めていくことも必要である。

4 総括

総合評価は、保護者（3.40→3.38）、教職員（3.31→3.37）となり、保護者がわずかに下回り、教職員がわずかに上回る結果となった。

保護者の評価が昨年度より下がった項目は25項目中16項目、上がった項目は、7項目であった。教職員については、評価が下がった項目が10項目、上がった項目が13項目であった。しかし、どちらも平均が3.3以上であり、おおむね理解を得て、達成できていると推察できる。

今後は、保護者に対して学校行事等に参加しやすい工夫をし、本校の教育活動への理解及び協力を促していくことが求められていると考える。また、高等学校に併設という環境を生かした教育活動の充実とホームページや学校からの便り等により情報発信に努めていきたい。

|     | 1 教育活動 |        | 2 教育環境 |        | 3 開かれた学校 |        | 総計   |        |      |
|-----|--------|--------|--------|--------|----------|--------|------|--------|------|
|     | H30    | H29    | H30    | H29    | H30      | H29    | H30  | H29    |      |
| 全学部 | 教職員    | 3.30 - | 3.30   | 3.50 ↑ | 3.43     | 3.30 ↑ | 3.20 | 3.37 ↑ | 3.31 |
|     | 保護者    | 3.30 Δ | 3.40   | 3.43 Δ | 3.50     | 3.40 ↑ | 3.30 | 3.38 Δ | 3.40 |

↑：向上 Δ：下降 -：同値